

※ かい答は、《かい答用紙》に書きましょう。

谷川さんたちは、総合的な学習の時間に自然とともに生きることについて調べて発表するために、学校の図書館で次の【文章】を見つけて読みました。

【文章】

「母なる森」とよばれる白神山地のブナ林では、ゆたかな自然かんきょうの中で、たくさん種類の生き物が生活しています。動物や植物、び生物など、すべての生き物にとって住みやすいかんきょうになっているのは、そこに住む生き物たちが、おたがいにもうまくバランスをとって生活しているからです。例えば、動物が食べる木の実や果物がブナ林にはほう富にありますが、動物たちは、それらの食べ物を全部食べてしまうことはしません。

この地いきに住む人たちも、そのことをよく知っているの
で、山菜をとりに行っても、見つけたものを全部とるような
ことはしません。例えば、山菜の一つであるゼンマイは、次
の年にもとれるように、何本か残しておきます。マイタケも、
一度とると、次の年は同じところではとりません。このよう
に、ブナ林の自然のめぐみは大切に利用されています。



【ゼンマイ】

また、熱帯の森に住んで、動物や植物をとっている人たちも、同じような考え方で生活しています。例えば、大きなえ物がとれたときは、それを食べきるまで、かりには行きません。また、とった食べ物は、みんなで分け合い、むだにしないで全部利用します。

白神山地にしても、熱帯の森にしても、人間をふくめた、さまざまな生き物がつながっている自然の中では、ある生き物だけが急にふえたりへったりすると、おたがいのバランスがくずれることがあります。一度くずれたバランスは、なかなか元にはもどりません。そうならないように、自然とともに生きることが、わたしたち人間の生活を守るためにも大切なことなのです。

一 谷川さんは、発表するとき、【文章】の中の——線部「動物が食べる木の実や果物がブナ林にはほう富にあります」の中の「ほう富に」という言葉を分かりやすく言いかえることにしました。言いかえる言葉として、最もふさわしいものを次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

ア 少し イ わずかに ウ たくさん エ ほどよく

二 谷川さんは、【文章】を読んで分かった内ようをまとめています。その内ようとして、最もふさわしいものを次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

ア 白神山地には山菜がたくさんはえるので、この地いきに住む人たちは、山菜を全部とって食べている。

イ 熱帯の森にすむ人は、とった食べ物を食べ切ったり、みんなと分け合ったりして全部利用している。

ウ ある生き物だけが急にふえたとしても、自然の中でのおたがいのバランスがくずれることはない。

エ 自然のバランスを考えることも必要だが、人間の生活を守ることを一番に考えていくことが大切である。

三 谷川さんは、【文章】の内よう以外の例を学校の図書館でさがしたところ、次の文章を見つけました。そこで分かったことを発表しようと思っています。あとの【発表】の中の(①)、(②)に当てはまる言葉を、【文章】と【世界のくらし図かん】の中から、それぞれ四文字でさがして書きましょう。

【世界のくらし図かん】

イヌイット

イヌイットは、カナダなどの地球で最も寒い地いきで生活を続けてきた。農作物がほとんど育たないきびしいかんきょうのため、アザラシやトナカイなどを求めて、グループで動しながら、雪で作った家やテントで生活する。

アザラシがとれば、肉は食料に、毛皮は服やくつに、油はねん料に、ほねは道具にするなど、むだにすることはいっさいしない。

しかし、最近のイヌイットは、都市の近くに住む人がふえてきた。スーパーで食料を買うこともある。



【イヌイット】

【発表】

食べ物になる農作物がほとんど育たないという、とても（①）自然の中で生きてきたイヌイットも、ほんたい反対に、白神山地のような（②）自然の中で生きる生き物たちやこの地いきに住む人たちも、熱帯の森に住む人たちも、みんな、自然のめぐみをむだにせず、大切に利用して、自然とともに生きていることが分かりました。



10

国語おう用力強化シート かい答用紙

番 名前 (

)

一

二

三

①

②

ー
ウ

ニ
イ

三
① きびしい

三
② ゆたかな